



上峰町立上峰中学校だより

ちんぜい

No.2

発行日：令和7年5月26日

発行者（文責）：校長 永田康子

学校教育目標：心豊かに たくましく生きる生徒の育成 ー自ら考え、判断し、行動する中学校生活を通してー
生徒会スローガン：Let's get together!～上中生徒が成長し、楽しめる上中へ～

新緑のまぶしい季節となりました。生徒たちは新しい学年やクラスに少しずつ慣れ、それぞれのペースで学校生活を送っています。中には、委員会活動や係活動、部活動など新たなことに挑戦し、自分の世界を広げている姿も見られ、頼もしさを感じています。5月は、体育大会などの行事や学習活動を通して、生徒一人一人が仲間と協力し、力を発揮する場面が増えてきます。学校は生徒たちの「学びの場」とすると同時に、人とつながり、成長する場でもあります。この時期、生徒たちが豊かな経験を重ね一段とたくましくなってくれることを願っています。ご家庭におかれましても、引き続き温かく見守っていただきながら、健康面・生活面でのサポートをよろしくお願いいたします。

体育大会「熱くなれ～みんなで一つに!上中 passion～」

体育大会に向けて、3年生のリーダーは家庭訪問・二者面談の期間中から準備と練習を始めました。そして、5月8日（木）の結団式を皮切りに全校生徒の練習がスタートしました。結団式では、それぞれの団が団長を中心に大いに盛り上がり、素晴らしい体育大会を創り上げるだろうという期待が高まりました。天気の影響で一日遅れの開催となりましたが、体育大会当日の生徒たちの輝きは曇り空でさえ明るくさせるほどでした。全校生徒による上中ソーランは勇壮で、その迫力に圧倒されました。各団のパネルも素晴らしく、それぞれに思いが込められていました。工夫が凝らされ、丁寧に仕上げられた各団のパネルが体育大会を更に盛り上げました。また、美術部の生徒たちが作成したスローガンが校舎から生徒たちの頑張りを応援しているようでした。

今回の体育大会で生徒たちは「やればできる!」という自信と仲間とともに素晴らしい体育大会を創り上げた達成感を得たと思います。生徒たちが自分たちの手で昇華させた体育大会は本当に感動的でした。

体育大会は、単に競技の成果を競う場ではありません。仲間と協力し、一つの目標に向かって努力を重ねる中で、支え合う心や、最後までやり切る力を育む貴重な機会です。たとえ結果が思い通りにならなかったとしても、これまでの過程で得た経験や絆は、生徒たちの心を豊かにし、これからの人生をたくましく生きる力となったことと思います。大会当日は、保護者の皆さま、地域の皆さまの生徒たちへの温かいご声援、ありがとうございました。今回の体育大会が大成功に終わったのはなぜだったのかを実行委員長のKさんに振り返ってもらいました。以下に紹介します。

実行委員長の振り返り

体育大会が大成功した理由は3つあります。1つ目は、男子の passion（熱量）です。それに女子が呼応し、殻を破ってくれました。女子が殻を破ったことにより、3年生全体の passion が高まりました。それにより1、2年生も大声を出しても恥ずかしくない、頑張ることが当たり前だという雰囲気になりました。2つ目は、団結力です。全校生徒の passion が合わさり、練習から本番までの7日間を全員でモチベーション高く過ごせたことです。これは、お互いに励まし合い、声を掛け合ったからこそできたことだと思います。3つ目は、計画力と考える力です。練習の計画を自分たちで考え、実行し、うまくいかなかったことをみんなで話し合い、改善するというこれまでの学校生活でやってきたことを発揮できたことが大成功の要因でした。今後は、大きな行事のない日常に戻ります。その普段の学校生活でも団結力や passion を発揮し、人のため、自分の成長のためになることをしながら運貯金を貯めて、3年生全員で志望校合格を掴みとります。そして、1、2年生によきモデルを示していきます。

「熱くなれ～みんなで一つに!上中 passion～」



応援ありがとうございました。

